

## あたり前に感謝する

蛇口をひねればいつでも清潔な水が出てきます。日本にいと誰もが感じるあたり前の感覚です。世界ではどうなのでしょう。日本のような国ばかりではありません。砂漠化が進んで水くみだけで日々重労働している人も多くいます。水不足で病気にかかってしまった人もいます。今、世界中に水の重要性が訴えられSDGsをはじめ、国際社会でもその重要性が説かれています。私は、手を洗う時水を出しっぱなしにしないように気をつけたり、水を多く使わないように食洗器を使っています。このようなことは他の人も実践していると思います。

生水が安全に飲めるのは日本だけということを聞いたことがあり外国に暮らしたことがある母に聞きました。「飲み水はペットボトルを買わないといけな

奈良市立富雄第三中学校 三年  
石川 のい

かった。蛇口をひねればどこへ行っても安全な飲み水が出るのは日本ぐらいだよ。」と言っていました。私はやっぱり本当なのだと驚いたのと共に、感謝しないといけないと思いました。この感謝は水道の技術力の高さや、管理能力の高さ、人々の努力、それに自然の豊かさにあると思います。だから「水に感謝する」ということを時々思い出さなければならぬと感じました。

父はこのようなことを言いました。「確かに世界では水資源が豊富な場所とそうでない場所がある。だから日本のような水が豊富な国は恵みを受け取ることができるので恵みを受け取ることには問題がない。」と言っていました。父は日本は水の恵みを受け取ることができない国は恵みを受け取ることが大切、水不足の地域のためには日本や先進国ができ

る範囲で技術、資金の提供を行っていけば、  
いずれは世界が良い方向に向かつていくはず  
だという考え方なのだと思います。私はこの  
考えに感心し、共感しました。

人は生きるために水を必要とします。水を  
大切にするには水との関係が大切だと思います。  
す。しかし私には水はあたり前のものであり、  
関係というものが感じられません。でも最近  
学んだことはきつかけをも一つになると思  
います。それは「バーチャルウォーター（仮  
想水）」についての考え方です。この言葉を  
初めて耳にしたのは中二の家庭科の授業でし  
た。バーチャルウォーターとは、輸入した食  
料をもし自国で生産するとしたらどのくらい  
の水が必要だったか推定したものです。調べ  
てみると日本はアメリカに次ぐ二番目に多い  
ことが分かりました。これにはあまり驚きま  
せんでした。なぜなら食料自給率が低いので  
海外から輸入するものが多いからです。その  
時食糧問題と水資源問題は見えないだけで、  
つながっていると感じました。他国に食糧問  
題を頼りすぎるのは良くないと感じました。  
バーチャルウォーターの存在を知ったこと

で水は食糧にも関係し、それを食べる私たち  
に大きく関係していると感じました。身近に  
感じられました。水との関係が近くなりまし  
た。今、世界では水不足で困っている人がた  
くさんいます。いろいろなことに目を向け、  
あたり前に水を使えることに感謝しなければ  
いけないと感じました。